



分散型リアルタイム音声とビデオ処理用ソフトウェア

Dialogic[®] PowerMedia[™] HMP Software Release 5.0

Dialogic[®] Host Media Processing Software Release 5.0（以下HMP 5.0）は、革新的且つコストパフォーマンスに優れた音声 & ビデオソリューションを構築するための分散型メディア処理用ソフトウェアです。HMP 5.0はLinuxベースのリソースサーバのインタフェースを提供するDialogic[®] Remote R4API経由で、Windowsベースのアプリケーションに対しても高品質なビデオ（H.264）並びにHD Voice（G.722及びG.722.2）を提供します。さらに、HMP5.0は仮想化にも対応しており、汎用サーバ上で専用ハードなしに動作させることができるため、コスト削減はもちろんのこと、他に類を見ない効率化及び柔軟性を実現しています。HMP5.0は5000ポートまでの同時SIP接続もしくは1500ポートまでの音声セッションをサポートします。

HMP 5.0はSIP接続の他、音声及びビデオの再生・録音（録画）、マルチメディアストリーミング、トランスコーディング、自動インタラクティブ音声及びビデオソリューション（IVR・IVVR）機能を提供し、コンタクトセンタやビデオポータル等のハイエンドライブアプリケーションにも最適です。Dialogicの長年に渡るリアルタイムメディア処理技術の経験、Dialogic[®] Global Call及びR4 APIの継続サポートにより、全く新しいインタラクティブなモバイル対応マルチメディアアプリケーションの開発はもちろんのこと、既存のメディア処理アプリケーションのソフトウェアベースIP対応アプリケーションへの移行も容易に可能です。HMP5.0には特許申請中のビットレート制御により映像品質を向上させるDialogic社の技術が含まれています。

機能

ビデオストリーミング、ビデオトランスコーディング（H.264、MPEG-4、H.263）等のマルチメディア機能及びビデオのリサイズ

ワイドバンドオーディオコーデックのサポート、再生・録音、DTMF検出、コールプログレス分析等の音声機能

追加型ライセンス

ホストPCの性能やアプリケーションにより、柔軟に構成の変更が可能な、汎用サーバ上で動作するソフトウェアエンジン

仮想化対応

Webベース管理

セキュアRTP（SRTP）及びSIPトランスポートレイヤセキュリティ（TLS）

利点

ビデオポータルやビデオコンタクトセンタ等のマルチメディアソリューションの構築に最適

多様なコーデックのサポートが必要とされる、PSTN及びIPエンドポイント対応の高度な音声アプリケーションも構築可能

対応ポート数や機能のアップグレードが容易

大幅なコスト削減が可能で、他に類を見ない効率性や柔軟性を提供しつつ、数千もの同時セッションをサポート

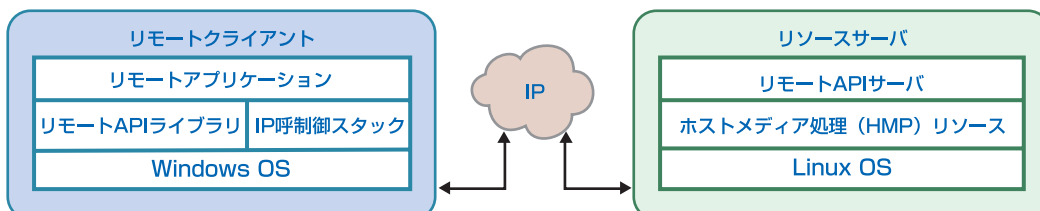
1つのサーバで複数のサービスを実現可能

Webインタフェースにより構成や管理が容易

メディアレイヤ（SRTP）及びシグナリングレイヤ（TLS）における暗号化セキュリティ対策が可能

※Dialogic[®] Remote R4 APIの中でのLinuxアプリケーションのサポート、マルチメディア会議での画面分割（2000セッションまでのアプリケーション）、IPv6及びFax（T.38、G.711パススルー、V.17）の機能も今後追加予定です。

分散型アーキテクチャ



※アプリケーションはリモートクライアント側で動作し、メディア処理はLinuxベースのリソースサーバで実行します。リモートクライアントとリソースサーバは仮想化を利用して物理的に1つのサーバ上に実装することも可能です。

■ 主な製品仕様

| | |
|---------------------|---|
| ネットワーク インタフェース | IPソリューション：イーサネットNIC IP・TDM統合ソリューション：DNIボード+イーサネットNIC（イーサネットNICはギガビット・イーサネットを推奨） |
| IP制御プロトコル | SIP、TLS、Dialogic IP Media Libraryを利用してサードパーティーの制御スタックとのインテグレーションも可能 |
| IPメディア ストリーミング | プロトコル：IPv4、RTP、RTCP、Secure RTP、NbUP over IP（H.223/3G-324M、G.711 5ms/20ms、AMR-NB） コーデック：G.711 u/a、G.722、G.723.1、G.726、G.729a、G.729b、AMR-NB、AMR-WB（G.722.2） QoS：アラーム、パケット制御フレーム、RTP/RTCPタイムアウト トーン検出・生成：RFC2833、インバンド RTP上のメディア制御：インバンドRTPストリームのゲイン及びアウトバンドRTPストリーム音量のプログラム制御が可能 |
| APIサポート | マルチメディア：MM（mm__） 制御：Dialogic Global Call API for SIP、Dialogic IPメディアライブラリ経由でインテグレートされたサードパーティスタック セキュリティ：SIPメッセージ用TLS、セキュアRTP 音声処理：R4 voice（dx__） IPメディア（QoS等）：R4 IPML（ipm__） イベントレポート、デバイス疑似及びその他の機能：R4 SRL（sr__） |
| セッション数 | 同時接続ユーザセッション数はホストプロセッサ及び利用アプリケーションにより異なります |
| ビデオ処理機能 | サポート機能：再生、録音、Iフレームアップデート（VFU）、ストリーム制御（ポーズ、再開、早送り、巻き戻し） 再生：音声とビデオの再生、音声のみ、ビデオのみ 録音・録画：同期化した音声とビデオをファイルへ格納 ビデオイメージフォーマット：CIF PAL 352x288ピクセル、QCIF PAL 176x144ピクセル、Sub-QCIF PAL 128x96ピクセル ビデオフレームレート：30、15、10又は6フレーム/秒 マルチメディアファイルフォーマット：独自フォーマット オーディオファイル（.wav/.pcm）：Linear PCM 16b 8K、Linear PCM 16b 16K オーディオファイル（.aud）：HMPネイティブコーデックフォーマット（全てのサポートコーデック） ビデオファイル（.vid）：HMPネイティブコーデックフォーマット（H.263ビットストリームデータ、 H.264ビットストリームデータ、MPEG4ビットストリームデータ） マルチメディアファイル（.3gp）：MPEG-4/AMR-NB イメージファイル（.jpeg/.yuv） ビデオストリームフォーマット：H.263、H.263+、H.263++（ベースラインプロファイルレベル30まで） H.264（ベースラインプロファイルレベル1、1b、1.1、1.2、1.3）、MPEG-4（シンプルプロファイルレベル0、1、2、3） |
| 音声処理機能 | サポート機能：再生、録音、トーン生成及び検知 再生：音量制御及びインデックスプレイ 録音：AGC 再生・録音用オーディオファイルフォーマット：OKI ADPCM 24k、32k、G.711 A-law、u-law 48k、64k 及びこれら全てのWAVEフォーマット Linear PCM 8b 11k（WAVEフォーマットのみ）、Linear PCM 8b 8k、GSM13k トーン生成及び検知：インバンドDTMF生成及び検出、ユーザ定義グローバルトーンの生成及び検出（GTG、GTD）、 RFC2833トーン生成及び検出 |
| ライセンス方法 | FlexNetライセンスユーティリティにより、ノードにロック |
| システム要求条件： ハードウェア | HMP 5.0は2つの汎用サーバを必要としますが、仮想化により1つの物理的サーバに統合することも可能です プロセッサ：インテル及びAMDプロセッサ、マルチコアバージョンを含む メモリ：音声アプリケーション用としては1GB、音声・ビデオアプリケーション用としては2GB、 多回線アプリケーション用としては4GBを推奨 ディスク容量：HMP 5.0のフルインストールには500MB必要 IPのみのソリューション：イーサネットNIC（1000Base-Tを推奨）付きのシングルもしくはデュアルプロセッサ、 シングルもしくはマルチコアプラットフォーム |
| OSサポート | メディア・シグナリングリソースサーバはLinuxでホストメディア処理リソースを提供し、Windowsベースのサーバが リモートクライアントとしてそのインタフェースを提供 リモートクライアント：Windows Server 2008 R2 64 bitバージョン、Windows Server 2008（Service Pack 2）64bit 又は32ビットバージョン、Windows 7 64 bit又は32ビットバージョン リソースサーバ：CentOS 5 Update4以降、32bitバージョンもしくは32bit 互換モード条で動作する64 bitバージョン、 RedHat Enterprise Linux Release 5.0 Update4以降 32bitバージョンもしくは32bit 互換モード条で動作 する64 bitバージョン |

・ サードパーティーライセンスの取得に関する注意事項：

Dialogic®PowerMedia™HMP付属の音声コーデックAMR-NB/AMR-WB規格を使用する場合でも、AMR-NB/AMR-WB規格のライセンスの使用権は付与できません。AMR-NB/AMR-WB規格の特許ライセンス契約につきましては
ボイスエイジ社（<http://www.voiceage.com/licencing.php>）にお問い合わせください。

※文中記載の会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

※本カタログ記載の内容は予告無く変更することがあります。



TEL: 03-5956-9052 FAX: 03-5956-9058

お問い合わせ先

<http://vocalnet.ntt-at.co.jp/> E-mail: vocalnet-ct@ml.ntt-at.co.jp

NTTアドバンステクノロジー株式会社

グローバルプロダクツ事業本部 メディアコミュニケーションプロダクツビジネスユニット
〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-5 Daiwa東池袋ビル

2012年5月現在